

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回行田市郷土博物館協議会	
開 催 日 時	令和7年2月7日（金） 開会：午後1時30分 ・ 閉会：午後3時00分	
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室	
出 席 者（委員） 氏 名	櫻井真佐美 重田正夫 滝澤布沙 大山能則 板垣時夫 宮本伸子 田村 均	
欠 席 者（委員） 氏 名	安藤秀一 高橋進太	
事 務 局	館長 鈴木紀三雄 主査 篠田泰輔 主任 澤村怜薫 主事 岡本夏実 主任 江森庸介	
会 議 内 容	令和6年度下半期事業報告 令和7年度事業計画 視察研修について	
会 議 資 料	令和6年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 令和6年度第2回行田市郷土博物館協議会資料	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし	
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名
	令和7年2月21日	<u>重田 正夫</u> <u>田村 均</u>

発 言 者	会 議 の 経 過（議題・発言内容・結論等）
事 務 局 （ 篠 田 ）	1 開会 本日の出席について、委員 9 人のところ 7 人である。 行田市郷土博物館協議会条例第 7 条第 1 項で規定のとおり、過半数の出席を賜っているので開催する。 なお、本日の会議は公開となっている。（傍聴人なし） また、議事録は市のホームページ、市政情報コーナーで公開する予定である。
	2 あいさつ 行田市郷土博物館 館長 鈴木紀三雄
事 務 局 （ 篠 田 ）	3 会長選出 行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 2 項で規定のとおり、会長は委員の互選とすることから、委員の皆様へお諮りする。
田 村 委 員	会長に副会長の大山委員を推薦する 〈全委員了承〉
事 務 局 （ 篠 田 ）	副会長選出 行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 3 項の規定のとおり、今後の進行は会長にお願いする。
大 山 会 長	行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 2 項で規定のとおり、副会長は委員の互選とすることから、委員の皆様へお諮りする。
田 村 委 員	副会長に板垣委員を推薦する 〈全委員了承〉
事 務 局 （ 篠 田 ）	4 議事 これより議事に入る。行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 3 項の規定のとおり、進行は会長にお願いする。

大 山 会 長	本日の議事については議事録を作成する予定である。 議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかにお願いしたい。 事務局より提案はあるか。
事 務 局 (篠 田)	それでは、名簿の順番で重田委員、田村委員にお願いしたい。
大 山 会 長	事務局の提案でよろしいか。 〈全委員了承〉
大 山 会 長	それでは、2名の方をお願いする。 では、次第に従って議事に入る。 まず(1)の令和6年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いする。 (事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明) ただいま事務局より説明があったが、これについて質問や意見等があったらお願いする。
櫻 井 委 員	3ページ目の月別一日入館者数の1月の実績について、令和4年度及び令和5年度に比較すると令和6年度は増加している理由はなにか。
事 務 局 (江 森)	今年度は冬の収蔵品展という事で「おもちゃのどうぶつえん・藤間コレクション郷土玩具の世界・」を開催した。昨年度の同月期間は展示事業を開催していないため、その差ではないかと考えている。
大 山 会 長	これを目当てにどのくらい集客できたのか。
事 務 局 (澤 村)	冬の収蔵品展の実績について学芸部門の報告でご報告させていただく。

重 田 委 員	減少している箇所も確かにあるが増加している箇所もある。何か特別な施策を実施したのか、もしくは自然増なのか。
事 務 局 (江 森)	今年度、商工観光課が主体となって忍城址周辺を中心に行田花手水タウン特別企画を実施した。この企画を目当てに来訪された方が多く、昨年度よりも増加した月間が生じた。しかし、8月の夏休み期間中の来館者等が少なかったのは、猛暑日による人々の外出自粛が影響しているものと考えている。
事 務 局 (鈴 木)	今年度の4月～5月は春の収蔵品展「忍城ゆかりの武具」を開催し、多方面で報道されたことから入館者増に繋がった。夏季期間にご存じのとおり猛暑の影響から外出する方が少なかった。それ以上に、昨年度の夏季期間に開催したテーマ展「描かれた忍城」という城絵図の展覧会が、想定以上に各方面に広報され、城人気から来館者増に繋がったと思われる。さらに、昨年度の9月～10月は三方領知替の展覧会を開催したことも要因のひとつであると考えている。
大 山 会 長	4ページ目の「①展覧会等への貸出」を例に表記の仕方についてお願いするものである。上半期3件と記載されたその下に番号順に内容が記載されている。上半期3件の内容と思ってしまうが、下半期の内容を記載していることが番号によって把握できる。今後は、上半期3件と記した次に下半期何件と表記し、その下に下半期の内容を記載してもらえると見やすくなる。
事 務 局 (岡 本)	今後作成する際、いただいたご意見を反映させていただく。
田 村 委 員	本年度寄贈資料の「斎条村飯田家文書一括」について教えて欲しい。何点ぐらいある資料なのか。さらに飯田家はどんなお宅なのか。
事 務 局 (澤 村)	分量としては小ぶりの段ボール一箱程度であることから、100点未満と思われる。基本的には、村役人レベルの家文書となり、明治時代以降の文書も含まれている。整理が未着手のため、家の性格についてはこれから解明していく。

田 村 委 員	本年度館蔵古文書整理の「須加川島家文書の目録作成」について、須加川島家とはどんなお宅か簡単に教えて欲しい。
事 務 局 (澤 村)	数年度前に寄託された資料であり、大量の資料であるため少しずつ整理を進めている。羽生に近い東寄りの須加に家を構えた川島家は、俳人の川島奇北を輩出した家であり、川にちなんだ渡世を営む地主であった。そのため、利根川に面した多方面の土地関係に関係した経営資料が残されている。また、明治期以降の書簡も非常に多く残っている。
田 村 委 員	河岸問屋も経営していたのか。
事 務 局 (澤 村)	実態は不明なところが多い。川島家は近世中後期に経営を拡大している家であり、その頃から多様な動向が表れてくると考えている。
板 垣 副 会 長	13ページ目の館蔵資料デジタルアーカイブについて、閲覧可能資料が現在179件であるとのことだが、具体的にどのような情報まで閲覧可能となっているのか。
事 務 局 (岡 本)	博物館ホームページのトップページにリンクを貼付けている。そこから、キーワード検索・資料名検索・カテゴリー検索等で検索可能である。掲載情報は、資料名・一般の方向け簡単な資料解説・寸法・時代（判明しているもののみ）・指定区分という基本的な情報のみ掲載している。掲載画像については資料の全体像を見せるサムネイル的なもので、国立公文書館等のデジタルアーカイブで公表しているような画像のように、細部まで閲覧可能な画像ではない。
板 垣 副 会 長	今後閲覧可能資料数は何件になるのか。
事 務 局 (岡 本)	具体的に何件という数値を定めてはいないが、順次継続して増やしていく予定である。
大 山 会 長	閲覧できるよう資料の登録を進めるに際し、何か課題等あるか。

事務局 (澤村)	事業の合間に撮影と資料情報の準備を行っているため、継続的な閲覧資料の増加と高精細画像の提供の両立は難しい。現段階では、まずは広く多くの方へ当館館蔵資料の存在周知のための取組を優先していくという共通理解のもと進めている。
重田委員	4ページ目の「須加川島家文書の目録作成」について、埼玉県政を知る上では重要な資料であると認識しているが、200点の資料の整理が終わったという事でよいか。
事務局 (澤村)	記載の仕方が分かりづらく申し訳ない。今回200点の資料整理が終了したという事を報告させていただいたが、実はすでに整理終了している資料は400点近くある。それゆえ、すでに約600点の資料整理を終了したという事になるが、まだまだ未整理資料もあるため今後も増加していく。
重田委員	5ページ目の写真提供「21(株)河合出版 2026大学入学共通テスト対策問題集 離縁状(秋山家文書)」を見て、離縁状が大学入試に使われるなんて時代が変わったなと思う。秋山家は離縁状をたくさん出したからこのように問題に使われるようになったのか。
事務局 (澤村)	秋山家文書の離縁状については、もう10年近く大学受験用問題集に掲載するために許可をしている。離縁状とは俗に三行半と呼ばれており、この史料は三行半で書かれ印章も明瞭に押印され、高校生に説明する資料として適切であるとのことから利用されている。
板垣副会長	9ページの「学芸員の講師出講」について、多方面で活躍されていることから今後も研鑽を積んでいただきたい。
大山会長	見えないところで大変活躍していることを自己申告で発信してもらえるとわかりやすい。仕事以外でも活躍していることから、そこで学んだことを今後どんどん活かしていってほしい。
大山会長	では、(1)の令和6年度下半期事業報告については終了する。次に、(2)の令和7年度事業計画について事務局より説明をお

	願います。 (事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)
大 山 会 長	ただいま事務局より説明があったが、どなたか御質問や意見等があったら願います。
重 田 委 員	企画展「魚食のグルメ」が楽しみである。慶応義塾大学文学部古文書室蔵の「石城日記」の現物が出るという事で、非常に期待している。今回の展示では、食事と酒はセットであることから、魚食だけでなく酒も一緒に展開するのか。どのような展示になるのかうまく料理していただきたい。
大 山 会 長	「魚食のグルメ」とはどんな展示になるのか。
事 務 局 (岡 本)	幕末の頃の忍藩士が描いた「石城日記」という絵日記に食事の描写が出てくる。さらには食材についても記載があり、筆者が武士だからという理由もあるが、口にしていたものが川の食材以外に海の食材もあったことが分かっている。内陸である土地柄、通常海のものは口にしなかったと思われがちだが、マグロなども食べていたことが分かる資料から、当時の魚食について展開していく展示である。さらには、口にする魚はどこから運ばれてきたのかという事にもフォーカスし紹介する予定である。
大 山 会 長	多方面に宣伝し盛り上げて欲しい。
滝 澤 委 員	「魚食のグルメ」に関して、グルメの時代となった今だからこそ膳揃いについても取り入れてもらえるとありがたいと感じる。さらに、テーマ展「戦時下の行田」に関して、今だからこそ平和の尊さを若い方にも繋がっていくような展示になればと考えつつ、楽しみにしている。
板 垣 副 会 長	「魚食のグルメ」に関して、農村部の人たちにとってみれば貴重なタンパク源であった魚は習俗的に活用されていた面もある。そのため、農村の人たちと城下の武士の人たちとの比較なども展示に入れてもらえたらと思う。

事務局 (岡本)	その点についても紹介できるよう現在調査を実施している。特に、「恵比寿講」について、行田市史を編さんした時の民俗調査においては生のサンマのお頭つきを供える家々が多く報告されており、「かけ鮓」については現在目下調査中案件である。
大山会長	16ページの「物販コーナーの拡充」について、どのような計画なのか。
事務局 (鈴木)	受付の手前に販売物を並べてあるものを、多方面からもっと見栄え良くしてもらいたいという意見を受け、ラウンジ近くに棚を置いて物販コーナーとして一か所にまとめる計画を考えている。
大山会長	受付と物販コーナーとする棚は接しているのか。
事務局 (鈴木)	通路で離れてしまっている。
大山会長	防犯上の問題が存在するという事か。
事務局 (鈴木)	お見込みのとおり。実施に際しては、運営方法等について多方面からの意見を参考にし、内容について十分検討していく予定である。
大山会長	各博物館へ行くと施設ごとにそれぞれ物販のコーナーがあって楽しいが、購入者が不便と感じないよう設営されている。事業運営上、問題が生じないよう効率よく運営してもらいたい。
大山会長	では、(2)の令和7年度事業計画については終了する。 次に、(3)のその他について事務局より説明をお願いします。
事務局 (篠田)	現在視察先の決定に苦慮しており、調整ができていない状態である。そのため、視察すべき事項が生じてから視察研修を実施するという事で、令和6年度視察研修は実施しないことでよいかをお諮りしたい。
大山会長	視察研修とは委員皆さん参加のもと実施できればと考えており、

	毎年毎年実施するのは委員皆さんの予定等もあることから、必要事項が出た際に視察研修を実施するのがよいのではないかと思います。事務局案のとおりとすることでよいか。 〈全委員了承〉
大 山 会 長	他に意見等なければ、以上で議事を終了する。 皆様の御協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げ、議長をおろさせていただく。
事 務 局 (篠 田)	本日は長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。それでは、閉会の御挨拶を副会長よりお願いする。 5 閉会 行田市郷土博物館協議会 副会長 板垣時夫 ※博学連携展示「行田市のうつりかわり」 展示見学 以上